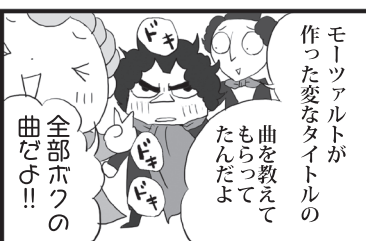


何の話?

漫画: 東園子



8・9月号では、アドラー流で考える「生徒・保護者とのコミュニケーション」についてお話しをしました。今回から数回にわたって、事例を通して日々のコミュニケーションを振り返っていきましょう。

◆こんな時、どうしましょう?
生徒がなかなか練習をしない。
自分から進んで練習をするようになってほしいのに…。

おそらく指導者と保護者のお悩みの第1位だと思います。過去にも取り上げた内容ではありますが、今一度「練習をしない生徒」に対して、どのような対応をしたらよいか、頭の中で考えていることを書き出してみましょう。書き出してみると、思考整理ができますし、改善点もきつと見えてきます。ぜひトライしてみてください。

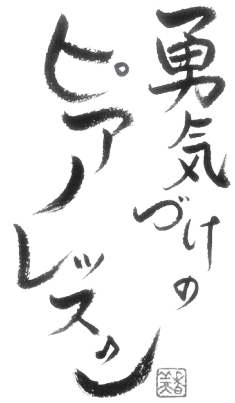
①練習をしてこない生徒に対して、どのような対応をしていますか?
*声掛けや対応はどのようにですか? 思いつく限り、書き出してみましょう。

②生徒にどうしてほしいですか? どのような対応が理想ですか?

◇アドラー流コミュニケーション～松井先生の場合
*一例として参考にさせていただきましょう。

練習するかしないかは、最終的には本人の判断を大切にしています。上手になりたいかどうかは本人が決めること。もちろん、生徒さんには上達してほしいですし、そのために練習を促す工夫と努力は惜しみなくしています。ただ、やみくもに練習を強制するようなことは避けたいと思うのです。
まず、弾けるようになった時のことを、生徒さんと一緒に想像してみます。例えば、発表会でとっても上手に弾けて、多くの人に拍手をもらったシーンをイメージしてみるのです。本当にその場にいるような臨場感で、どんな会場で、どんな人がいて、大好きな曲が上手に弾けて、大きな拍手をもらった…など、どんどんイメージを膨らませるのです。そして、ここからがもっと大切なのですが、その時の「感情」をリアルに思い描いてみるのです。あたかもそれが今、現実に起こっているかのように、嬉しい気持ちを味わい実感してみるのです。おとなとの会話で、それを生徒さんに想像させます。そして、それを行った上で「練習しなさい」と強制するのではなく、「練習したらそうなるよ。ちょっとずつでもいいから、練習してみたら?」と自らチャレンジしたいと思うような言葉かけをしています。

松井美香 まつい・みか
「勇気づけの音楽家」東京音楽大学ピアノ専攻卒業。学研『愛のピアノレッスン』にて手記を執筆。
<HP>松井美香ピアノ教室 <http://matsuimika-piano.net>
<ブログ>ピアノの先生のためのモチベーションアップ術 <http://ameblo.jp/makeachangewithlove>
*無料メルマガ好評配信中 (登録はブログにてお知らせしています)
<座談会特設ページ><http://www.gakken.jp/ongaku/smile>



第42回

Gakken

株式会社学研プラス 音楽・キャラクター事業室
〒141-8415 東京都品川区西五反田2-11-8 TEL: 03-6431-1220

学研 おんがく.net <http://www.gakken.jp/ongaku/>
電子書籍ストア 学研BookBeyond <http://bookbeyond.jp/>
twitter @gakken_music
facebook gakken.music

学研10月号

おんがく通信

TAKE FREE 月号

先月、バジル先生のセミナーに参加しました。公開レッスン型で、受講者お悩みにそった解決法を提案していただきます。今回は「高い音をスムーズに出したい」「cresc.がうまくできない」などのお悩みがありがとうございました。先生のアドバイスで素敵な音色に変化していく様子はお見事! 私もトロンボーンが吹きたくってきました~!(の)

2017年9月25日

究極の名盤を聴く⑩ チャイコフスキー 交響曲第6番 短調 Op.74 《悲愴》

23人の音楽評論家が選んだ究極の名盤ガイド『クラシック CD エッセンシャル・ガイド 150』をもとに、歴史に残る名盤をご紹介します。今回は、チャイコフスキー作曲の交響曲第6番《悲愴》をご紹介します。《悲愴》の初演からわずか9日後、波乱万丈な人生を歩んだチャイコフスキーの生涯は幕を閉じます。この作品が彼の人生最後の大作となりました。最終楽章の命のともじびが消えるような終わり方は、まるでチャイコフスキーの死を連想させるかのようです。

名盤 BEST 5

- エフゲニー・ムラヴィンスキー**
レニングラード・フィルハーモニー管弦楽団
[ドイツ・グラモフォン/UCGG9049 (SA-CD) / 1960年録音]
- ヴァレリー・ゲルギエフ**
サンクトペテルブルク・キーロフ歌劇場管弦楽団
(現マリインスキー劇場管弦楽団)
[デッカ/UCCD2231 (SHM-CD) / 1997年録音]
- フェレンツ・フリッチャイ**
ベルリン放送交響楽団
[ドイツ・グラモフォン/UCCG51028 (SHM-CD) / 1959年録音]
- ジャン・マルティノン**
ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団
[グラッドストラム (テッカ盤を復刻) / GS2038 / 1958年録音]
- ヘルベルト・フォン・カラヤン**
ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団
[ワーナー・クラシックス/WPCS12815 / 1971年録音]
- ヘルベルト・フォン・カラヤン**
ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団
[ドイツ・グラモフォン/UCCG90696 / 1984年録音]

エフゲニー・ムラヴィンスキー Evgeny Mravinsky [1903-1988 (ロシア)]

的確なテンポ、デュナーミク、短い動機ひとつひとつの表情のつけ方。ひとつの織物のように綿密に組みあげられた、ムラヴィンスキーによる味付けが、聴き手を圧倒します。その名演からは、チャイコフスキーが記した音符のすべてに意味があり、存在理由があることを理解することができるでしょう。

ヴァレリー・ゲルギエフ Valery Gergiev [1953- (ロシア)]

ゲルギエフとキーロフ歌劇場管弦楽団 (現マリインスキー劇場管弦楽団) の好調ぶりを伝える1枚。全曲を支配するとてつもない勢い、それでいて細かな配慮を怠らない色彩豊かな演奏は、チャイコフスキーの実現そのものです。ゲルギエフは完璧なまでに音色をコントロールし、《悲愴》の持つ陰影を宿した美しさや、苦しみといった感情を、まるで生きもののように表現しています。ライブかと思われるほどの緊張感を感じることで演奏です。

『クラシックCDエッセンシャル・ガイド150』 (小社刊) より

チャレンジ!

【三連符】
長さの計算が正しいものに○を付けましょう。

() ○ =

() ○ =

() ○ =

() ○ =

() ○ =

() ○ =

難易度
『おうちでもできる! おんがくワークブック④』程度

Gakken
株式会社学研プラス 音楽・キャラクター事業室
〒141-8415 東京都品川区西五反田2-11-8 TEL: 03-6431-1220
学研 おんがく.net <http://www.gakken.jp/ongaku/>
電子書籍ストア 学研BookBeyond <http://bookbeyond.jp/>
twitter @gakken_music facebook gakken.music

Gakkenの楽譜 こぼれ話

「新版おんがくドリル」シリーズのドリルとワークブックの第6巻・第7巻には、ほかの巻と大きな違いが…? そう! タイトルがひらがなの“おんがく”から漢字の“音楽”になっているんです!
理由はもちろん…、次号で! (か)

音楽ドリル 6

音楽ドリル 7

編集部の一問一答!

学研・音楽事業チームのスタッフに音楽の好きなところ、自分だけのこだわりなどを聞いてみよう! というコーナーです。

今月の回答者: (お)

Q: 最近ハマっている作曲家は?
A: サティ

Q: 好きな調性は?
A: ハ長調!

Q: 好きな音楽用語は?
A: dolce ←美味しそうだった

教えて！ピアノ・レッスンのあれこれ

全国の楽器店で配布中の冊子（無料）『ピアノの先生のためのレッスンQ&A』よりご紹介いたします。

Q レッスン中、生徒の集中力が続きません。集中してレッスンに取り組んでもらうにはどうすれば良いのでしょうか？

A **あかね先生の回答**
「これは子どもに限らず大人も同じですが、集中している時というのは、目の前にはっきりした目的や対象がある時、何をやるかがはっきり分かっている時です。つまり、何に向かって、何をすればいいの、を理解することでその課題に集中して取り組むようになります。ポイントを押さえた課題を与えるようにしましょう。たとえば、「ここには気をつけて」とか、「ここができればOK」という風に。ひとつひとつの課題にじっくり取り組むことで、達成感も生まれますし、子ども自ら課題をみつける力もついてきます。何よりも、先生ご自身が生徒さんに集中し、少しずつ、時間をかけて指導していくことが大切だと思います。」

9月号でもお伝えしましたが、ポイントを明確にしていくことが、レッスンを上手に進めていくコツになりますね。生徒さんにとっての道しるべ、“ポイントの明確化”を繰り返していくことで、やがて、生徒さん自身が“ポイントの見つけ方”を学習していきます。これが、読譜力にもつながっていくでしょう。ぜひレッスンで意識なさってみてください♪

今月のセミナースケジュール

10/12 (木) : [北海道/札幌] 島村楽器 札幌クラシック店内ラウンジ
『「リズム」を確実に身につけるためのレッスン』
<リズム・セミナー/発展編>

10/19 (木) : [東京都/立川] ららぽーとホール
『子どもが飽きない「リズム」のレッスン』
<2回連続リズム・セミナー/1回目:導入編>

10/13 (金) : [滋賀県/栗東] 栗東芸術文化会館さきら 小ホール
『ピアノ・テクニクのレッスン法~すてきな音をならしましょう~』
<テクニク・セミナー/発展編>

名曲ものがたり

Vol.1 モーツァルト

トルコ行進曲 ~ピアノ・ソナタ 第11番 イ長調 K.331 第3楽章

アラ トウルカ Alla turca トルコ風

トルコ共和国は、アナトリア半島とバルカン半島にまたがる、人口約8,000万人の国です。1923年に共和国になるまでは、オスマン帝国(オスマントルコ)といって地中海沿岸も支配する、とてもとても大きな国でした。一方その当時のウィーン(オーストリア)は、神聖ローマ帝国というヨーロッパの大国に属していました。領土拡大をもくろむオスマン帝国により、ウィーンは1529年と1683年の2度に渡り侵攻されます。しかし頑丈な城壁と必死の抵抗によりオスマン軍に勝ちました(第一次・第二次ウィーン包囲)。その後、ヨーロッパの連合軍がオスマン帝国から領土を奪い返すための大トルコ戦争がはじまり1699年に終結します。戦争が終わりオスマン軍は退却。そして、そこには思いがけずオスマンの文化が残されたのです。ウィーンのコーヒー文化はよく知られていますね。これはオスマン軍が残っていたコーヒー豆から始まったといわれています。パンのクロワッサンは、オスマン軍に勝利したウィーン市民が、オスマン国旗の三日月をかたどったパンを焼いて勝利を祝ったのが起源...という説もあります。おもしろいですね！そして音楽。オスマン軍は兵士たちの気持ちを高めるために、軍楽隊「メフテル」を連れていました。当時はめずらしかった打楽器(ダウル、ズィル、ナッカーラなど)や管楽器(ズルナ、ボルなど)の賑やかさ、独特のリズムをもった音楽は異国情緒にあふれ、ヨーロッパ各地の音楽に影響をおよぼしました。そうした中、モーツァルトやベートーヴェンが活躍した18世紀のウィーンの音楽界で、“トルコ風”が大流行したのです。

※「メフテル」で検索すると、いくつか動画を観ることができます。



ウィーンで作曲された「トルコ風」音楽

ハイドン
交響曲 第100番「軍楽」 第2楽章、第4楽章で使われる打楽器がトルコ風
ベートーヴェン
トルコ行進曲 リズムがトルコ風
ベートーヴェン
交響曲 第9番「合唱付き」第4楽章 テーマがトルコ風に変奏される
モーツァルト
オペラ「後宮からの逃走」 トルコを舞台とする

レッスンに役立つ!

調性のお話

黒田篤志

第5回 ~まとめ(前半)~

■着眼点を箇条書きにしよう

以下の6つが、これまでお話ししてきた調性を感じ取るためのポイントです。

- ・取り組んでいる曲の調性を知る
- ・ピアノ以外の楽器をイメージする
- ・全体をつくりを把握する
- ・終止形を明確にする
- ・3段目あたりに注目する(短い曲の場合)
- ・細かい和音を感じる

できれば箇条書きにしておきましょう。練習しているうちに、いつのまにか着眼点は埋もれてしまうものです。楽譜を広げてなんとなくピアノを弾くのではなく、ポイントを絞って曲に取り組む習慣もつけるように努力しましょう。

黒田篤志 くらど・あつし

1973年生まれ。早稲田大学修士課程修了。日本アマチュアピアノコンクール7位入賞。出版社にて楽譜と書籍の編集を担当。現在小山市で、大人のピアノ教室“Lento Lento”を主宰するかたわら、フリーの編集者、ピアニストとして活動中。http://ameblo.jp/pianote0519/

今回と次回で、「調性のお話」をまとめたいと思います。

第1回で「調性感を身につけると表現力がアップ」するだけでなく、ついでに「楽典のおさらい」もできるとお話ししました。ポイントは生徒さんへの「問いかけ」です。オリジナルの「問いかけ」集を作っていたらピンポイントになるように、第2~4回で「問いかけ」をいくつかご紹介してきました。今回は、これまでの内容を踏まえ、新たに曲に取り組むときの着眼点を整理したいと思います。



QRコードで簡単アクセス!

■順番に確認していこう

まず調号を確認します。そして過去に取り組んだことがある同じ調性の曲などと比較しながら、調性の雰囲気と一緒に感じてください。ピアノ以外の作品で、生徒さんが知っている曲を紹介できると効果的です。次に、全体を見渡していくつかの部分に曲を区切り、各部分の最初と最後の和音進行を弾いてあげましょう。和声的に形式を把握することはとても大切です。たくさん曲をこなすうちに、典型的な終止のパターンも耳で把握できるようになるはず。また、曲中にはクライマックスが必ずあることも教えてあげてください。曲に慣れてきたら、各部分の最初から最後まで和音進行を感じてもらいましょう。なるべく多くの和音を、細かく捉えてもらいたいですね。

■和音を聴き分ける敏感な耳を育もう

曲に使われている音は、調性ごとにある程度決まっています。たとえば「八長調の音階」は、八長調の曲に使われる「音のまとまり」を整理したものです。それらが作り出す響きの種類や流れが和音や和音進行と呼ばれます。つまり、和音に敏感になれば響きのストーリーがわかり、ベースにある「音のまとまり」も把握できるようになるため、取り組んでいる曲の調性を感じ取りやすくなるのです。和音の響きを聴き分ける敏感な耳を育むことを常に念頭に置きながら、6つの着眼点をポイントにレッスンを進めてみてください。バッチリ調性感が身につくはずですよ。

最終回は、「問いかけ」について整理したいと思います。



発売中 シャープとフラットのピアノ名曲集 (全3巻) 黒田篤志 編

■各: 菊倍判/64~80頁/本体価格1,200円~1,300円(税別)



Music Quiz

Q サン＝サーンスの組曲《動物の謝肉祭》に登場しない生き物はどれでしょうか？

- ① ぞう
- ② くま
- ③ カンガルー
- ④ かっこう

答え: 2. くま 動物園では定番のくまですが、《動物の謝肉祭》には登場しません。登場する生き物は、ライオン、めんどり&おんどり、ちば、かめ、ぞう、カンガルー、耳の長い登場人物、かっこう、ピアニスト、白鳥です。ほかに、水族館、大きな鳥かご、化石があり、最後にこれまでの生き物たちのモチーフが登場しフィナーレとなります。《動物の謝肉祭》は、途中で有名な曲が登場したり、しゃっくりのような表現があったり、わざと下手に聴こえるように音をずらす表現があったりと、おもしろい演出が随所に施されています。ぜひ全曲聴いてみてください♪

新刊情報 楽譜

世界的ギタリスト初のエッセイ集! 初の「書き下ろし」自伝的エッセイ&ジャンルを超えた6人の友人達との「語り下ろし」対談集



■A5判 / 256頁 / DVDつき / 本体価格2,000円(税別)

演奏&レッスン風景 DVD付
6弦上のアリア
著: 福田進一

CONTENTS

◆第1章 少年時代	◆第4章 武者修行 その1
◆第2章 青春時代	◆第5章 武者修行 その2
◆第3章 パリへ	◆第6章 パリ国際ギターコンクール

●●● 福田進一 ロングインタビュー
◆6弦交遊録
●工藤重典(フルート奏者)
●野平一郎(作曲家、ピアニスト)
●渡辺香津美(ジャズ・ギタリスト)
●逢坂剛(小説家、推理作家)
●奥田政行(イタリア料理人)
●平野啓一郎(小説家)
◆ディスコグラフィ、ギターの名器 他

【DVD収録曲目】 *収録時間: 約26分
F. ソル: メヌエット Op.11No.3
19世紀ギター: ルネ・フランソワ・ラコート
J.S. バッハ: プレリュード 二長調 BWV998
19世紀ギター: カエターノ・ガタニーニ(1829)
武満 徹: フォリオ!
ヴィラ＝ロボス: 前奏曲 第5番 二長調
ギター: ホセ・ルビオ(1966)
【ドキュメント】 インタビュー&ショート・レッスン